

津市バイオマス産業都市構想の概要

三重県津市、人口 約28.6万人、面積 約7.1万ha

構想の概要

域内の3つのゾーン(都市、農住、自然環境共生)から発生する未利用・廃棄物系バイオマス(木質系、食品廃棄物、下水汚泥)と4つの事業化プロジェクトを組み合わせ、クリーンエネルギー産業と雇用の創出を図り、環境にやさしく住みよいまちを目指す。

1. 将来像

- ①市民の環境意識向上
～環境に優しく住み良いまち・津～
- ②山・川・海・都市の連携と雇用創出
～産業活力溢れるまち・津～
- ③森林産業の活性化・雇用拡大
～自然を護り、災害に強いまち・津～
- ④関連産業の誘致・集積へ
～クリーンエネルギー産業の集うまち・津～

2. 事業化プロジェクト

- ①木質バイオマス発電プロジェクト
・林地残材等(補完燃料として輸入バイオマスを含む)を用いた発電
- ②食品系廃棄物活用プロジェクト
・有機性汚泥、食品系廃棄物の固形燃料化・バイオガス化
- ③木質バイオマスの固形燃料化プロジェクト
・間伐材等を原料とした固形燃料化
- ④汚泥の固形燃料化プロジェクト
・汚泥(下水・し尿)を原料とした固形燃料化

3. 目標

【平成34年度のバイオマス利用率(炭素換算量)】

- ①廃棄物系:85%(現 66%)
うち食品系廃棄物:55%(現42%)
- ②未利用:25%(現15%)
うち間伐材:35%(現31%)

4. 地域波及効果

- ①経済波及効果:729.8億円
- ②新規雇用創出効果:96人
- ③再生可能エネルギー生産量
・電気:158,000Mwh/年
・熱:268,000GJ/年
- ④温室効果ガス削減:89,500t-CO₂/年
- ⑤森林の保全等

5. 実施体制

- ・市が主体となった「バイオマス産業化推進チーム(仮称)」が事業化プロジェクトの進行管理・点検評価
- ・市環境審議会や環境基本計画推進市民委員会等から指導・助言

6. その他

- ・津市総合計画後期基本計画(H25)
- ・津市環境基本計画(H20)
- ・津市地域新エネルギービジョン(H19)

津市バイオマス産業都市構想～環境と共生し、心豊かで元気あふれる美しい県都～ 全体概要図

